

里海通信

能登町立小木小学校

令和7年3月16日

校内里海学習発表会～学んだことを表現・発信する～

2月5日(木)、校内里海学習発表会を行い、1年間の里海学習で学んできたことや感じたことを伝え合いました。発表するために、これまでの体験活動を整理したり、学んだことを見直したりしました。各学年の発表を聞くことを通して、里海学習の興味の幅を広げ、次の学年の里海学習につなげたいという思いをもつことができました。

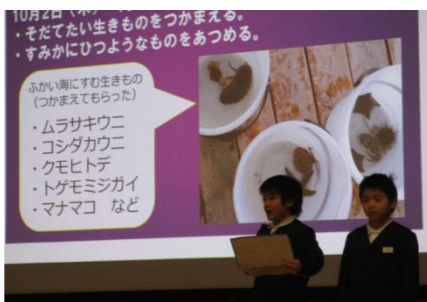
1年生 生活科：はじめての里海学習

1年生は、砂遊びと、生き物探しについて発表しました。砂遊びでは、グラウンドの砂と海の砂は触った感じが違うことや、砂だけでなく波でも遊ぶことができることを発表しました。生き物探しについては、海のどこで、どんな生き物を発見したか発表しました。また、生き物を観察して、初めて知ったこともたくさんありました。1年生は能登の海がもっと好きになりました。2年生でも、海についてたくさん学びたいと張り切っています。



2年生 生活科：密着！観察50日

7月から12月の半年間でどんな学習をしてきたのかをまとめて発表しました。「九十九湾で磯観察をしたり、育てたい生き物やすみかに必要な物を採集したりしたこと」「西別院小学校との水槽づくりからWeb交流と50日間の観察が始まったこと」「観察を通して学んだこと」「1年生を招待した小木水族館」「西別院小学校との学習交流会から学んだこと」「生き物との別れや水槽掃除」について聞く人の目を見て、気持ちを込めて伝えることができました。



3・4年生 総合：守ろう小木の海～わたしたちにできること～

「小木の海を守ろう～自分達にできること～」をテーマに、1年間の学習を進めてきました。校内里海発表会では、学習したことをスライドでまとめ発表しました。どうすれば見やすいスライドになるか、一番伝えたい所はどこかなど自分達で話し合っただけのスライドを作成しました。小木の海について学んだことで、「これからも小木の海をきれいにしよう」「海ごみは海の生き物にどのくらい影響を与えるのか」など、海洋ごみ問題について関心を持つようになりました。



5年生 里海科：ぼくらの未来に関わる里海科

まず、「花から実へ」の学習について、海の植物の受粉の仕方について、探究したことや分かったことを聞き手に問いかけながら堂々と発表しました。次に、「漁業のさかんな地域」の学習について、海の資源を残しながら利用していくことが大切だということを、みんなで一緒に考えることができるよう工夫して発信することができました。最後に、「流れる水のはたらき」の学習について、水による災害がどのようにして起こるかを調べ、災害から身を守るためのマップや取組から、みんなで災害に備える重要性を伝えました。



6年生 里海科：一年間の里海科で学んだこと

「植物のからだとはたらき」の学習について、実験の結果を表にまとめるなど、工夫して整理し、発表することができました。また、「栄養満点の里海給食をつくろう」のテーマについて、栄養面だけでなく、予算の視点でつくる大切さを学んだことを発信しました。最後に、「地球に生きる」のテーマについて、豊かな海を残していくためには、みんなが海にもっと関心を持ち、自分たちにできることを考え続けていかなければならないということを訴えました。



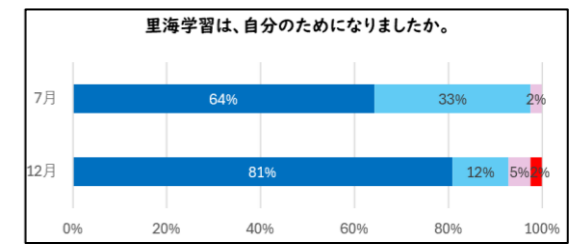
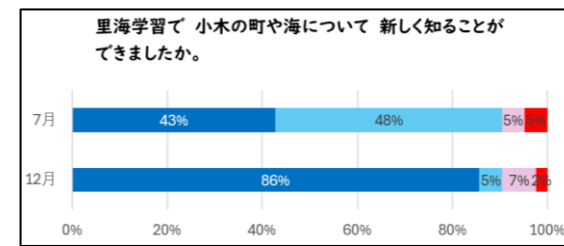
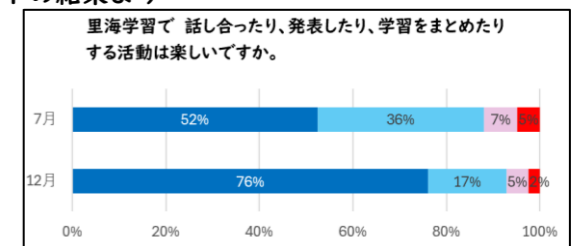
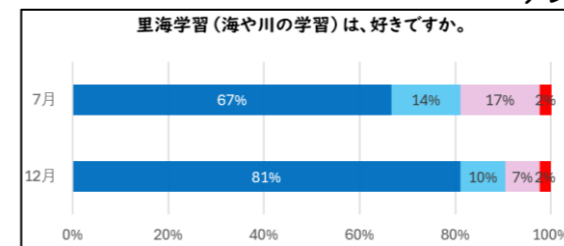
～参観された保護者のみなさんのご意見・ご感想～

- 子どもたちみんなが上手に発表できていました。予想立てて実験などを行っているところがよいとおもいました。
- 私自身も分からないことや初めて知ったこともたくさんあり、ものすごく勉強し、発表会ができたのだと感心しました。とても勉強になりました。
- 児童みんながきちんとまとまった発表で聞きごたえがありました。内容が濃かったです。
- 高学年の発表がすごくよかったです。大人が聞いていても勉強になりました。
- 1年生もみんなはきはきと堂々とした態度で、すばらしかったです。保護者だけでなく、地域の方にも聞いてもらいたい内容でした。
- あいさつがしっかりできていて、声にもメリハリがあって、とても聞きやすかったです。また、資料も見やすくて分かりやすかったです。ずっと見ていられました。
- 海ごみを減らすために、家庭で出るごみを減らすよう、私達も努力したいです。
- 各学年、難しいことを自分たちで調べていてすごいと思います。里海学習をしているところを見てみたい、知りたいと思いました。

～里海学習として、学んでほしいこと～

- ごみを減らすことから、食べ残しを減らすと発表していたかと思います。食べ残しを減らすことから、6年生のように下級生でもクッキングをして、命の大切さについても学んでほしいと感じました。
- 生き物の生態系など・SDGs
- 海ごみを拾ってきて、海ごみアートを作って新しい命にして、世の中へ循環させたり巡らせたりしてほしいです。
- 美しい海を守るために、自分たちができることをするほか、自分たちでできない問題について深く掘り下げ、地域や県内、国、世界などに発信してほしいです。
- 実体験の発表を続けてほしい。海の状態の経過観察を歴代で続けるなどしてほしい。

～アンケートの結果より～



■ 思う ■ まあまあ思う ■ あまり思わない ■ 思わない

今年度は、「自ら進んで、考えや思いを表現・発信することができる児童」を目指し、体験活動を重視したりつきたい力を見直したりしながら里海学習を行ってきました。「里海学習で、話し合ったり、発表したり、学習をまとめた活動は楽しいですか。」の項目で、「思う」と回答した児童は、7月では52%でしたが、12月では76%でした。その他の項目でも、「思う」と回答する児童の割合が増えました。

今後も、里海学習でのつきたい力や学年ごとの系統性などを明確にして、充実した里海学習に取り組んでいきたいと思っています。

